



Flyin' to the Sky

京都府立大学 国際センター ニュースレター

March 2021 Vol. 15

目次

1. 国際センターの新体制を紹介します
2. 国費外国人留学生在が京都府名誉友好大使として活躍中です
3. 国費外国人留学生の日本留学体験談
4. 塚本学長メッセージ動画 ～中国 国立華僑大学創立 60 周年記念によせて～
5. 中国 国立華僑大学への留学体験談

国際センターの新体制を紹介します



オーストラリア マッコリー大学の
担当者(右がセンター長)

文学部 欧米言語文化学科 教授 山口 美知代

2020年4月に国際センター長となりました山口です。私の専門は英語学で、映画の英語、特に、世界各地の様々な英語が使われている映画の英語に関心を持って研究を進めています。最初は、イギリス英語を研究していたのですが、『世界の英語を映画で学ぶ』(松柏社)という本の企画・執筆をきっかけに、アイルランド、オーストラリアなど、英米以外の英語圏や、インド、シンガポール、マレーシア、フィリピン、ジャマイカ、トリニダード・トバゴなどの、英語が公用語の一つである国にも足を運ぶようになり、世界の英語

のおもしろさのとりこになりました。授業でも、こうした世界の英語の特徴、多様性について伝えたいと考えています。世界の諸英語の多様性を知ることは、自分が英語で発信するときの自信にもつながるからです。

さて、国際センターの仕事のなかには、京都府立大学の学生さんの海外留学支援、また、海外から京都府立大学へ留学する人たちの支援があります。大学主催の海外研修(オーストラリア、ドイツ、中国)の事前研修で危機管理についての説明も行なっています。現在はコロナ感染症拡大防止のため、海外留学がままならない状況ですが、自由に往来できるようになったときのためにぜひ、短期、長期の留学も視野にいれてみてください。そして、どうか気軽に、下記の国際センター運営委員・事務局にご相談ください。

★国際センター運営委員★

副センター長	織田 昌幸 教授	生命環境科学研究科	クルス・アンドレ准教授
文学部	井上 直樹 准教授	学務課	岡本 誠 課長
公共政策学部	松岡 京美 准教授	企画課	山本 範子 課長

★国際センター事務局★

井關 洋一 副課長	吉岡 寿浩 主査
吉田 久美	松岡 世利子

国費外国人留学生在が京都府名誉友好大使として活躍中です



任命式にて(右は西脇知事)

生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 修士課程1年生
マテウス・デ・フレイタス・ラモスさん [ブラジル出身]

国費外国人留学生のラモスさんは、京都府名誉友好大使に任命され2020年7月27日(月)、任命式が行われました。12月22日(火)には、本学の精華キャンパスで対面とオンラインでブラジルの生物群系について1時間、日本語でセミナーを行い、参加者からは活発な質問が出ていました。また、国際交流活動を行なっている京都府内のNPOで日本とブラジルについてのセミナーを行う予定もあり、今後の活動が期待されています。(事務局記)



任命式会場の日本庭園を背景に



セミナーの様子

国費外国人留学生の日本留学体験談 (2020年度後期に渡日)

生命環境学部 研究生

マテウス・オリヴェイラ・ゴメスさん [ブラジル出身]

日本で実際に留学生活を送るまでには大きな困難がありました。まず、ブラジルの出国前72時間以内にPCR検査を受け陰性証明をもらい、関西国際空港で再度PCR検査を受け陰性証明が必要でした。そして、コロナウィルス感染症拡大防止策として、京都に到着後15日間、ホテルで自主隔離をしなければなりませんでしたが、自主隔離の時間は有効に活用できました。日本語を勉強したり、日本の文化を学んだり、蕎麦やうどん、豆腐などの和食を作りました(作ろうと努力をしました)。

その後は寮に入り、やっと自分の部屋で落ち着くことができました。寮では皆が歓迎してくれていることが伝わってきて、京都での生活が楽しみになりました。翌日は初めて大学に行き、京都府立大学の研究生としての第1歩を踏み出しました。研究室と果樹園を案内してもらったり、様々な実験が行われていることを教えてもらったりしました。すべてがすばらしく、きちんと計画どおりに進められていると感じます。京都府立大学のクルス准教授の研究室の一員になれたことにとっても感謝しています。

最近は余暇に京都一周トレイルでの山歩きにも挑戦し、毎日を有意義に過ごしています。(原文の英語を事務局にて和訳)



大好きな場所、伏見稲荷大社にて



嵐山の渡月橋を背景に

塚本学長メッセージ動画 ～中国 国立華僑大学創立 60 周年記念によせて～

日本京都府立大学祝福视频

发布时间: 2020-10-24 作者: 日本京都府立大学 来源: 阅读: 54



祝辞を述べる塚本学長

京都府立大学 塚本学長殿

2020年11月1日、国立華僑大学の創立60周年祝賀記念行事が執り行われました。貴学からの祝賀メッセージにより、本学の祝賀記念行事は更に素晴らしいものになりました。お心遣いに深謝し、敬意の念をお伝えしたいと思います。コロナウィルス感染症の終息後には、直接お会いして更に交流を深め、将来の協力関係についてお話したいと思っています。 (事務局にて和訳)

2016年12月に本学と国際交流協定を締結した華僑大学は2020年11月1日に創立60周年を迎えました。先方からの要望をうけ、塚本学長の祝賀メッセージ動画が作成され、送付されました。この動画の中で塚本学長は、国立華僑大学の創立60周年をお祝いするとともに益々の発展を祈念し、今後も両校がお互いに交流を深め、より良い学術交流と学生交流ができることを期待している旨を述べられています。

また、後日、華僑大学から感謝状(原文は英語)が届きましたので、一部を下記にご紹介します。

中国 国立華僑大学への留学体験談 (2019年度後期に留学)

生命環境科学研究科 環境科学専攻 博士課程3年生 高林 裕



国際シンポジウムの時に行った福建省泉州市にて

私は約2か月間、福建省廈門市の国立華僑大学へ調査・研究のために短期留学しました。海外での生活は初めてのことで迷いもあったのですが、周囲からの勧めもあり、留学を決意しました。

華僑大学では、鳥類と周辺環境との関係性を把握すべく、街中で鳥類調査を主に行ないました。海外での調査は初めてのことで戸惑いもありましたが、華僑大学の先生方や学生さん達に調査・研究のみならず生活の様々な場面で支えて頂いたことで、問題なく調査を終えることができました。さらに、シンポジウムへの参加や学生さん対象のプレゼンテーション、廈門の様々な場所への訪問等、得難い多くの経験をすることができました。廈門の温暖な気候と豊かな緑、日本では見たことのない珍しい鳥、そして美味しい料理(中国の料理はどれも美味でしたが、廈門の料理の味付けは日本に近いのです)も、みな思い出深いことばかりです。

留学を経て、自分が今まで知らなかったことがどれほど多いのか、周りの人達にどれだけ支えられているのか等、研究の成果以上に多くのことを学ぶことができました。本当に、行くことができて良かったと思います。



華僑大学を出てすぐの廈門市街にて

発行 2021年3月

発行責任者 国際センター長 山口美知代

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

TEL: 075-703-5905

Email: kokusai@kpu.ac.jp